

平成29年度予算の編成状況（新規事業）についての意見と意見に対する市の考え方

- ・実施期間：平成28年12月13日から平成29年1月12日まで
- ・意見提出者数・意見総数：1名、2件

整理番号	提出された意見	意見に対する市の考え方	
1	事業名：高齢者なんでも相談室の運営・支援（高齢者支援課）		
	意見	<p>今回の第1回目の予算が、第2回目で0円になった。これはむしろH29年度より実施すべきものであり、H30年度ではおそい。どんなことがあってもH29年度に各1名ずつの4人の増員をして欲しい。市の将来を左右することとなる。</p> <p>具体的には市の職員が、例えばデイサービスへの一日通所を経験するなどの努力をせねば介護保険制度はつぶれてしまうと見る。業者やボランティアへの範を職員がたれるべきである。とに角、市の職員に危機感と責任感が不足しているとする。人材がないというのは理由にはならない。</p>	<p>市内4カ所に設置する各高齢者なんでも相談室は、利用者が増加しているため、29年度に職員各1名増の予算要求がありましたが、事業全体の優先順位から、第2回目の予算編成状況の公開時には「事業の必要性は高いが現行体制で対応」と判断しました。しかし、再度、利用状況等を確認した結果、体制の強化が必要であると判断し、事業費の精査を行った上で、29年度事業として各地区高齢者なんでも相談室の職員各1名ずつ、計4名増の事業費を採択しました。</p>
	理由	<p>現在は介護保険制度の危機的な時期にある。利用者の増加と受皿の不足が甚だしい。市が出前をして、市民の協力を得るために指導的な役割をするべし。待っていたのでは駄目である。</p>	

整理 番号	提出された意見	意見に対する市の考え方	
2	事業名：高齢者なんでも相談室の運営・支援（高齢者支援課）		
	意見	<p>なんでも相談室の増設については、やはりH29年度に我孫子地区か天王台地区に1ヶ所増設するべし。</p>	<p>我孫子市西側地区においては、現在の我孫子地区高齢者なんでも相談室の相談件数や利用状況を鑑みると増設の必要性は高いと考えています。</p> <p>本件については、29年度で1名の職員増を行い、人材育成を行った上、30年度中での開設を検討していきます。</p>
	理由	<p>これからは、介護予防や介護支援の1と2や要介護1と2の人々への対応についても、又、市民の生活の困った状況を把握するためにも必要である。</p> <p>特にコンパクトシティとしての我孫子西部は人口が急増している。資金がなければ、他の業務を縮小しても優先的に行なうべき項目と考える。</p> <p>市の現状での対応が出来ているとは考えていない。</p> <p>市の考えは甘いと思います。市長の決断を望みます。どんどん利用者の増加に対しての市の実行動が大切です。このままでは手遅れになります。</p>	